

令和3年度 決算報告

市民の皆さんが納めた税金がどのように使われているのかをお伝えするために、市公式ホームページなど、さまざまな方法で予算の執行状況や決算を公表しています。今月は令和3年度の一般会計の決算の概要と、実施した主な事業をお知らせします。

狭山市の決算は、国の定める健全化判断比率において健全性が示されています。

3年度一般会計決算の概要

歳入は、地方税全体においては、企業収益の増加により法人市民税が増額になった一方、個人市民税が減額となったことなどにより、前年度比1.8%の減となり、また国庫支出金において、特別定額給付金に係る補助金の減額などに伴い、48.5%の減となりました。各種交付金においては13.4%の増、地方交付税においては62.9%の増となりましたが、歳入全体は12.9%の減となりました。

歳出は、2年度に引き続き、新型コロナウイルス

感染症に対応した事業を実施しました。その結果、民生費は子育て世帯への臨時特別給付金などにより増加となり、衛生費は新型コロナウイルスワクチン接種などにより増加となりましたが、特別定額給付金がなくなったことなどにより、歳出全体は15.3%の減となりました。

全体では、歳入総額566億8,126万円、歳出総額538億224万円となりました。

歳入から歳出を差し引いた28億7,902万円を4年度に繰り越しました。

市の財政状況を公表します

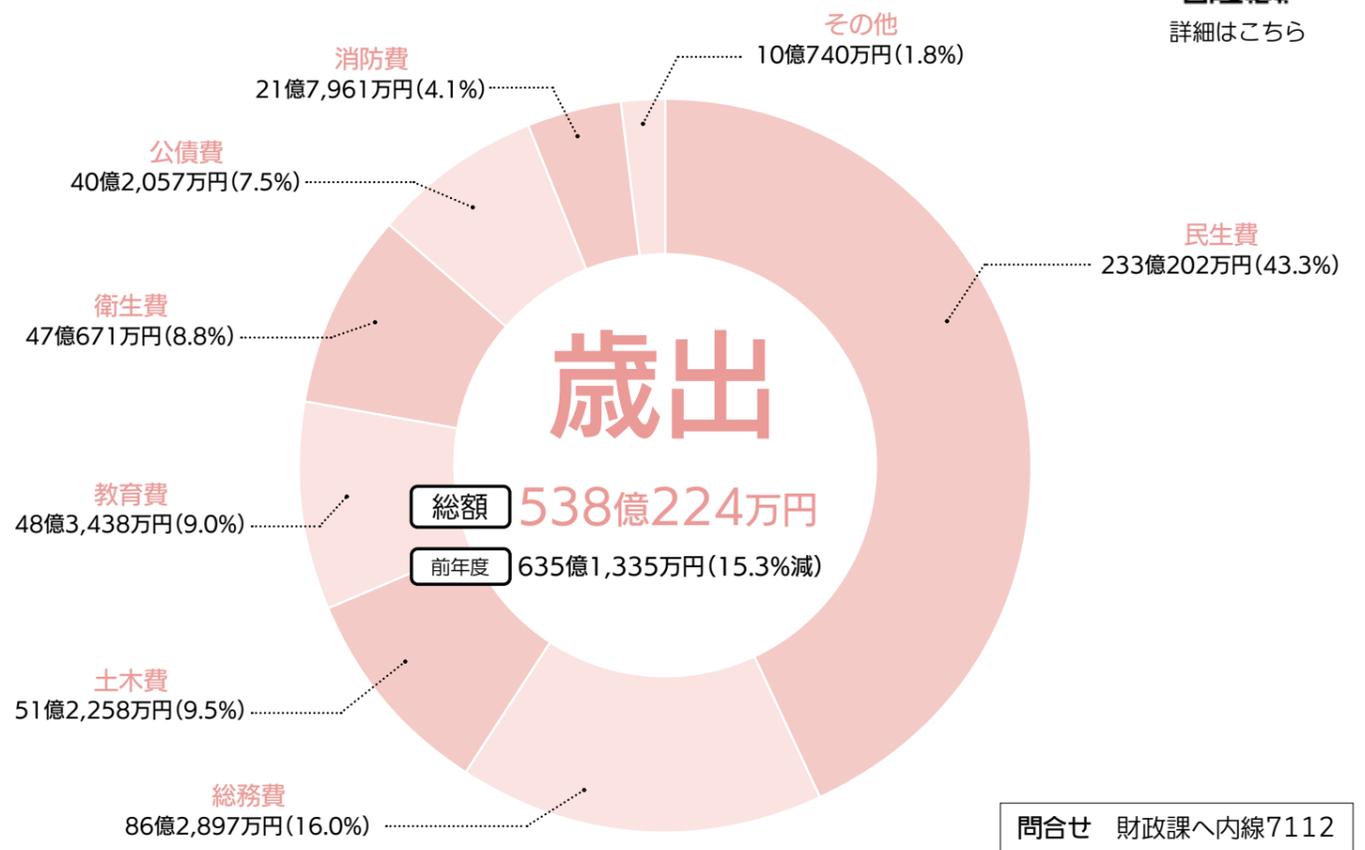
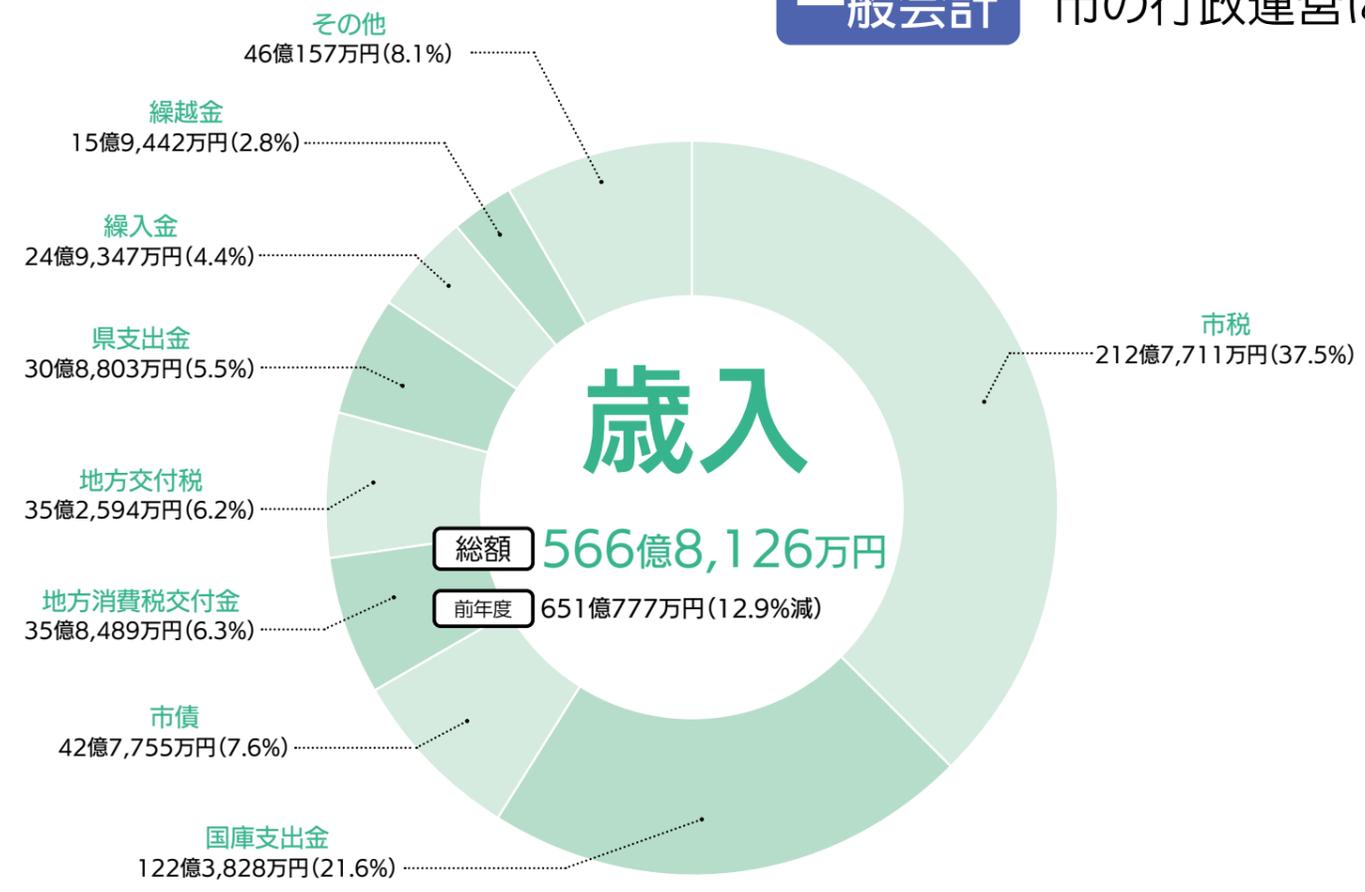
内容 3年度決算と4年度上半期の予算、財産、基金
 期間 5年1月31日(火)まで
 場所 市役所1階情報公開コーナー、地区センター、入曽地域交流センター、図書館



詳細はこちら

一般会計

市の行政運営に使われる一般的な経費です



問合せ 財政課へ内線7112

市民1人当たりに使われた費用 合計360,127円

※端数処理により、各項目の金額と合計が一致しない場合があります



総務費 ¥57,758
 市有財産の管理や一般事務などに要する経費



民生費 ¥155,973
 子どもや高齢者、障害者などの福祉に要する経費



教育費 ¥32,359
 学校教育や生涯学習に要する経費



土木費 ¥34,288
 道路の建設や公園の整備などのまちづくり、市営住宅の管理に要する経費



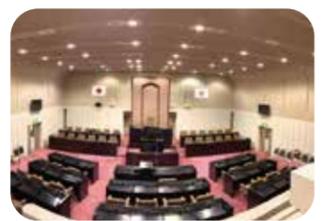
公債費 ¥26,912
 道路・施設を建設するための借入金の元金や、利子の支払いに要する経費



衛生費 ¥31,504
 保健衛生やごみ処理などに要する経費



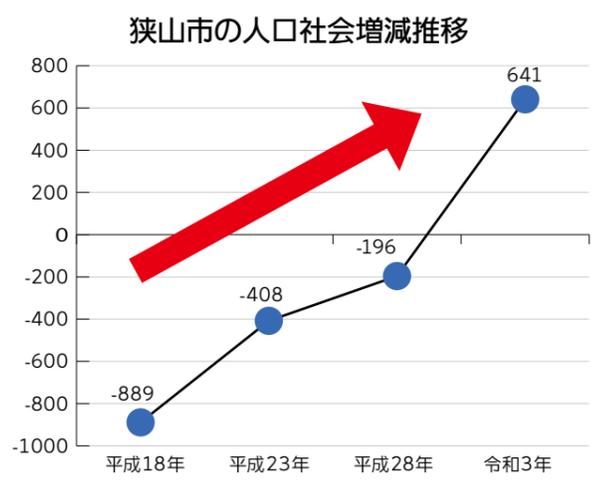
消防費 ¥14,589
 消防や災害対策に要する経費



その他 ¥6,742
 市議会運営や農業振興に要する経費など

令和3年度の主な事業

テーマ1 若い世代を増やす 少子高齢化と人口減少対策に取り組み、女性の力を活かし、人口減少を克服する持続可能なまちづくりに取り組みました。



近年、少子高齢化の影響から市内の総人口は減少が続いているものの、転入・転出などによる人口の変化を表した、「社会増減」は令和3年に大きく社会増に転じています。

子育て世帯

移住・定住促進事業

「親元同居・近居支援補助制度」や「若い世代の住宅取得支援補助制度」により住宅を取得や増改築した世帯に対し、その費用の一部を補助しました。この制度を利用し、合計で378人が狭山市に転入しました。



民間保育所等施設整備補助事業

新たに認可保育所を整備する事業者に対し、補助金を交付し、新たに90人の児童が受入れ可能になりました。

入曽地区子育て支援拠点施設等整備事業

子育て支援拠点施設と公共広場の整備などを担う民間事業者との基本協定を締結しました。また、地域の子育て支援環境などの機運を高めるために、セミナーを開催しました。

母子保健事業

乳幼児の疾病の早期発見・治療のため、乳幼児健康診査や新生児聴覚スクリーニング検査を行いました。



子どものための教育・保育給付事業

特定教育・保育施設、特定地域型保育事業者などを利用する保護者に対し、第3子以降の保育料を無償化するなどの補助を行いました。

学力向上支援と教育環境の充実

教育情報ネットワーク運用事業

GIGAスクール構想実現のため、ICT支援員業務を拡充しました。1人1台端末を活用した、児童・生徒の学力向上につながる教育環境を整備しました。



中学校校舎等改修事業

生徒用トイレと職員用トイレの改修工事を実施しました。また、4年度の生徒用トイレ改修工事に向けて、設計業務委託を行いました。この工事は4年11月に完了予定です。



テーマ2 まちと産業に活力を

産業を活性化し、駅周辺に賑わいを創出し、人と企業に選ばれるまちづくりに取り組みました。



入間小学校跡地の利活用を中心に、入曽駅周辺の利便性と安全性を高めるため、進出事業者の決定や、区画道路の築造工事などを行いました。

また、狭山工業団地を拡張する2地区を選定して、新たな工業・流通の拠点の形成を進めました。拡張地区には新たに1事業者が操業を開始しました。

都市基盤の整備

狭山市駅加佐志線整備事業

事業用地の取得と道路整備に向けた設計業務や雨水管築造工事などを行いました。

笹井柏原線整備事業

事業用地の取得と道路整備に向けた設計業務や雨水管築造工事などを行いました。

産業支援

産業労働センター管理事業

中小企業・小規模事業者に対して伴走型ビジネスコンサルティングを行う、狭山市ビジネスサポートセンター(Saya-Biz)が開始から3年間で相談件数4,000件を達成しました。



商業支援事業

中小企業庁の「はばたく商店街30選」を受賞した新狭山北口商店会への伴走型支援や、各商店会が行う共同施設の修繕・整備などを補助しました。



狭山茶消費拡大振興事業

茶樹の優良品種への改植の促進や新茶即売会の開催を通じて、狭山茶の品質・生産性向上と消費拡大を推進しました。

企業立地促進事業

市内へ立地を希望する企業からの相談対応や、立地した企業に対する企業立地奨励金を交付しました。

にぎわいの創出

入間川とことん活用事業

入間川にこここテラスの利活用に向けた検討を行うとともに、イベントの開催などを通じて入間川河川敷エリアの魅力を発信しました。



東京オリンピック・パラリンピック推進事業 聖火リレー事業

レガシー創出に向けて、大会の機運を醸成するイベントや次世代に向けたオリパラ教育の実施、祝祭感を演出するための装飾などを行いました。



また、聖火リレーの際は安全、安心、確実に運営できる体制を構築するとともに、七夕飾りでリレールートを彩ることで本市の魅力をもっとPRしました。

智光山公園管理事業

ワーケーションに対応したオートキャンプサイト、ソロキャンプサイトを整備しました。



ふるさと納税事業

狭山市にゆかりのある返礼品を用意し、寄附金額は96,769,529円で過去最高額となりました。



テーマ3 楽しめる健康高齢社会を

子どもから高齢者まで健康でいることが当たり前となるよう、安心、健康、便利なまちづくりに取り組みました。



公共交通の充実を図るため、市内循環バス「茶の花号」の効果的な運用や利便性の向上を図るとともに、堀兼地区デマンドバス実証運行に向けて車両の購入などを行いました。

また、高齢単身世帯が増えている中で、成年後見制度の周知や利用・相談支援などを行う中核機関を設置し、高齢者のサポート体制を強化しました。

高齢者・障害者などへの支援

生活困窮者自立支援事業

834件の新規相談に応じ、必要な情報提供や助言、自立支援の計画作成などの支援を実施しました。また、就労準備支援事業として一般就労に向けた基礎能力の形成を促す支援を行い、162名が就労しました。

障害者生活支援事業

障害者の福祉の向上や介護者の負担の軽減のために、手話通訳などの意思疎通支援事業や移動支援事業などを実施しました。また、福祉手当や障害児福祉手当などを交付しました。

交通安全の推進

高齢者運転免許証自主返納支援事業 安全運転支援装置設置助成

70歳以上の運転者を対象に、運転免許証を自主返納した方に交通系ICカードへの入金費用を助成しました。

65歳以上の運転者を対象に、安全運転支援装置の設置費用の半額を助成しました。

保健予防の充実

早期不妊検査・治療費助成事業

妊娠を望む夫婦に対し、不妊や不育に係る検査や治療費を助成しました。

テーマ4 市政運営をみんなの力で

市民、団体、事業者、行政が協働し、新時代にふさわしい元気なまちづくりに取り組みました。



市役所1階高層棟の福祉関係窓口をリニューアルしました。相談窓口を一本化するため「福祉総合窓口」を設置し、プライバシー保護のためにカウンターに仕切りの設置などを行いました。

また、温室効果ガスの排出抑制に寄与する省エネルギーシステムの設置や、電気自動車などの購入に係る費用の一部を補助しました。

行財政運営の効率化

情報化推進事業

「狭山市DX基本方針」を策定しました。また、保育所の入所調整をAIで行い、従来と比べて10日程早く結果通知を発送しました。



ダイバーシティの推進

男女共同参画推進事業

第5次狭山市男女共同参画プランを策定しました。また、誰もが自分らしく生きられる社会の実現を目指し、パートナーシップ宣誓制度を開始しました。

防災体制の充実

防災体制強化事業 地域防災強化事業

職員の参集訓練や現地災害対策本部員訓練を実施しました。また、水害など防災関連情報を掲載した「狭山市水害ハザードマップ」を市民に配布し、防災に関する意識の向上を図りました。

マイナンバーカードの交付促進

個人番号カード交付事業

「個人番号(マイナンバー)カード」の交付にあたり、問合せの対応などを効率的に行いました。1年間の交付件数は21,531件、これまでの累計交付件数59,949件(交付率40.1%)となりました。

市民協働

協働推進事業

市民参画と協働によるまちづくりの推進を図るため、提案型協働事業8件を実施しました。

ゼロカーボンシティの推進

地球温暖化対策推進

電気自動車「Honda e」を市庁舎に導入しました。また、武州ガス、東京ガスと脱炭素のまちづくりに向けた包括連携協定を締結しました。今後、「脱炭素のまちづくり」を目指していきます。



新型コロナウイルス感染症への対応



市民の不安や不慣れな手続きなどを解消するため、ワクチン接種の予約を市職員がサポートする「茶チャットと予約！ワクチン安心サポート事業」などを実施しました。この取り組みはメディアなどに取り上げられ、全国に広まりました。

感染症防止対策事業

①自宅療養者支援

新型コロナウイルス感染症の自宅療養者に対し、市が独自に「狭山市自宅療養者支援パッケージ」として、パルスオキシメーターや酸素濃縮器の貸与、食料品などの生活必需品の配送支援を行いました。



②抗原検査キットの配付

医療体制のバックアップのため、医療機関へ抗原検査キットを配付しました。また、施設などでのクラスター発生を抑制するために、公立小・中学校の教職員や、高齢者・障害者施設の職員などを対象に抗原検査キットを配付しました。

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 新型コロナウイルスワクチン接種事業

ワクチンを1日でも早く、安心して接種をしていただけるよう、医療機関での接種や集団接種の体制を確保しました。社会経済活動を止めないために、エッセンシャルワーカーへの接種を優先的に行いました。



また、市と狭山市医師会、狭山市歯科医師会、狭山市薬剤師会と、ワクチン接種の円滑な実施に関する協定を締結し、協力体制を強化しました。接種体制の確保や集団接種の実施、予約の支援など、ワクチン接種に対してご協力いただいた皆様に感謝状を贈呈しました。

